



平成30年3月13日

各位

会社名 株式会社クロスフォー
 代表者 代表取締役社長 土橋 秀位
 (コード番号:7810 東証JASDAQ)
 問合せ先 取締役管理本部長 山口 毅
 (TEL.057-008-9640)

**平成30年7月期 第2四半期及び通期連結業績予想の修正
 並びに役員報酬の一部減額に関するお知らせ**

最近の業績動向を踏まえ、平成29年9月12日付で公表しました平成30年7月期 第2四半期(累計)及び通期連結業績予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

また、業績予想の修正に伴い役員報酬の減額実施を決定いたしましたので、お知らせいたします。

株主、投資家を始めとする関係者の皆さまには、多大なるご迷惑、ご心配をお掛けしておりますことを心からお詫び申し上げます。

記

1. 平成30年7月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年8月1日～平成30年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,540	363	357	262	31.57
今回修正予想(B)	2,225	47	38	5	0.33
増減額(B-A)	△314	△316	△319	△257	
増減率(%)	△12.4	△87.1	△89.2	△97.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年7月期第2四半期)	-	-	-	-	-

(注) 1. 平成29年7月期第2四半期は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、前年同四半期の経営成績については、記載しておりません。

2. 当社は、平成30年2月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、平成30年7月期第2四半期(累計)連結業績予想の1株当たり四半期純利益については、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2. 平成30年7月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年8月1日～平成30年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,723	843	831	599	71.98
今回修正予想(B)	4,071	270	259	151	9.09
増減額(B-A)	△651	△572	△572	△448	
増減率(%)	△13.8	△68.0	△68.9	△74.7	
(ご参考)前期実績 (平成29年7月期)	4,211	816	793	532	41.99

(注)当社は、平成30年2月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、平成30年7月期通期連結業績予想の1株当たり当期純利益については、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。また、前期実績の1株当たり当期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

3. 修正の理由

① 上記1.の第2四半期(累計)連結業績予想について

当社グループでは、当社特許技術である「Dancing Stone」を用いて、各グループ会社において、その独自の技術を利用した国内向けジュエリー・アクセサリ製品の製造販売、海外向けパーツの製造販売を主とした事業を行っております。

海外向けパーツの製造販売に関しては、当社の連結子会社である歌思福珠宝(深セン)有限公司が前期より事業をスタートし、中国国内市場の開拓、深化に努めております。その結果、中国におけるライセンス契約件数は増加傾向にあるものの、契約先増加に伴う当社製品の知名度向上にあわせて、模倣品も増加する事態となっております。現地弁護士事務所と連携し模倣品排除のための活動を継続的に行っておりますが、模倣品業者の増加が著しく、模倣品の排除が未だ途上の段階であるため、中国向けパーツ販売は当初計画を下回る見通しとなりました。

加えて、インド向けに販売しているパーツは、インド国内でペンダント等の最終製品に加工され、主に米国で販売されております。米国のジュエリー・アクセサリ製品市場の低迷に伴い、米国大手宝石小売チェーンの製品需要の減少により、インド向けパーツ販売は当初計画を下回る見通しとなりました。

売上高につきましては、国内向け製品販売は当初計画に対して比較的堅調に推移しているものの、上記理由による中国及びインド向けパーツ販売の低迷を受け、前回予想を下回る見通しとなりました。

また、各段階利益につきましても、売上高の減少に加え、海外向けパーツ販売が減少したこと及び国内向け製品販売のうち相対的に利益率の低い製品の売上構成比が伸びた事等による売上総利益率の低下により、前回予想を下回る見通しとなりました。

② 上記2.の通期連結業績予想について

上記①の第2四半期(累計)の結果を踏まえ、通期連結業績予想について見直しを行いました。

売上高につきましては、国内向け製品販売に関しましては、上期と同様に当初計画比で堅調な売上基調は継続することを見込んでおりますが、中国、インドにおける売上低迷の影響が大きく、また、中国、インド向けの販売低迷は、下期においても継続することが見込まれるため、前回予想を下回る見通しとなりました。

各段階利益につきましても、上記売上高の減少に加え、海外向けパーツ販売の減少は継続するものの材料調達コストの引き下げ、国内向け製品販売のうち相対的に利益率の高い製品の積極的な営業展開を実施することにより、売上総利益の低下が低減される見込みであるため通期の連結業績予想については上記2.の見通しとなりました。

今後の取組みとして、中国向けパーツ販売について引き続き模倣品対策を行うとともに、インド向けパーツ販売について、インド国内で開催されるインド国内市場向けの展示会への参加など、インド国内市場の開拓、深化に努めて参ります。

4. 配当予想について

平成30年7月期の期末配当金につきましては、平成30年1月9日公表のとおり、1株あたり7.2円の配当を予定しており、変更はございません。

5. 役員報酬の減額について

本日開催の取締役会において、第2四半期及び通期連結業績予想の修正内容を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、下記の通り役員報酬の減額について決議いたしましたのでお知らせします。

記

1. 報酬減額の内容 代表取締役社長 土橋 秀位 月額報酬の30%を減額
2. 報酬減額の対象期間 平成30年3月から平成30年7月まで

(注)本資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在において得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な原因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上